



高口やすひこ通信



立川市議会議員 高口靖彦

電話・FAX 534-0267

E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com

http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi

この度の東日本大震災において被災された皆さま、関係者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

今回の大地震を受け、改めて首都東京、立川の防災対策を真剣に検討そして迅速に遂行していかなければならないと決意しております。

甚大な津波被害をもたらした三陸沿岸にあって、唯一死者ゼロであった岩手県・普代村。45年前に構築された堤防の高さは15m。『高すぎる』と批判を浴びましたが、『15mの波が過去に来たことがある』と、当時の村長が一步も譲らず、今見事にその役割を果たしました。

(読売新聞から)

フィリピン海プレートがある東海・関東地域、備えを万全にしなければ、立川市も大きな打撃を受けるかもしれません。『防災対策はこの位で大丈夫』との油断を排し、推進してまいります。そうでなければ、大震災では、真に人命を守ることは出来ないということを肝に銘じてまいります。



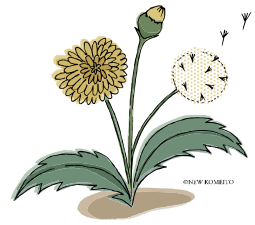
【2011年 予算特別委員会で】

2011年第1回定例会が2月21日から3月22日まで開催されました。今議会には平成23年度一般会計と競争事業など6つの特別会計予算が上程され、慎重審議した結果、全て可決しました。

一般会計は市税の増収などで、平成22年度と比べ26億円増え、約670億円となりました。しかし、小・中学校普通教室の冷房化、生活保護費、国民健康保険会計への繰り出しの大幅増により、財政調整基金から3億円を取り崩すなどの措置を取っています。

尚、今回の定例会では、3月11日の大地震による計画停電の対応等、様々な市の業務を優先させることを考慮し、本会議・一般質問を中止致しました。

予算特別委員会での主な質問内容



★電子行政・電子社会について

- ◆主張 市の情報化戦略を進め、クラウド・システムの導入を図るべき
- ＜答弁＞ クラウドの方向性を確認した上で、IT戦略の方向性を示していく（市長）

★環境について

- ◆主張 エコカー、電気自動車の普及を市が率先して促進していくべき
- ＜答弁＞ 供用車の数台を環境配慮型自動車に変えていく。CO2排出抑制による環境配慮し、市が情報発信をして普及に努めたい（総務課長）
- ◆主張 携帯電話等に含まれるレアメタル（貴重金属）の回収に向け、積極的に取り組んでいくべき
- ＜答弁＞ 世界的な現状を考え、レアメタルの回収を進めるべき、東京都等の意向を受けながら考えたい（ごみ減量化担当主幹）

★就労について

- ◆主張 シルバー人材センターでの高齢者の就労支援を充実すべき
- ＜答弁＞ 現場系の仕事は増えているが管理系の業務に希望が多いので、営業努力で丁寧に仕事を増やしていきたい（産業振興課長）
- ◆主張 フリーター、ニートの方等への若年者就業支援を充実すべき
- ＜答弁＞ 若者支援のための体制整備モデル事業に取り組んでおり、NPO等と協力して、常設の相談窓口を開設していきたい（産業振興課長）

★立川農業の振興について

- ◆主張 立川地場野菜の振興に向け、ホームページ開設やツイッターの活用等、情報発信に力を入れていくべき
- ＜答弁＞ これから大規模直売所等の仕組みをつくっていく時に、検討していきたい（産業振興課長）

★自転車の安全について

- ◆主張 自転車が通行可能な歩道にあるポールが、夜間等では見えにくく事故の危険がある、改善すべき
- ＜答弁＞ ポールについては、反射用のテープを張るなどの対応をしているが、今後研究していきたい（指導課長）

★教育について

- ◆主張 学校図書に、図鑑等に有効なデジタル書籍、3D書籍を導入・活用すべき
- ＜答弁＞ 立体映像等、迫力の授業の実施が可能で、学習意義も大変大きいので、デジタル教材の購入を積極的に図っていきたい。（指導課長）

国立音大そば踏切交差点に 信号機が今年度中に設置へ！



私は、初当選した平成 18 年の市議会で信号機の設置を主張。以来、市議会で機会あるごとに早期実現を求めてきました。また、立川警察署にも要請を重ねてきました。

平成 21 年には、公明党の都議会議員とともに、警視庁に信号機設置を強く要請。昨年も、公明都議に現地を視察させて、危険な実情を訴え、東京都に申し入れをさせました。

公明党は長年にわたって、国立音大そば踏切交差点について、巻き込み防止ポールの設置、道路舗装や道路表示の改善、通学時間帯の一方通行化など、信号機が実現するまでの間の安全対策を推進してきました。

皆様の声で実現しました！

小・中学校の普通教室にエアコン設置
近年の酷暑対策として、教育環境整備の為、建替えが始まる第一小学校を除く全校に空調機を設置します。

学童保育所の時間延長
平日は午後 7 時まで。土曜日と学校休業日は午前 8 時から保育を行います。

認可保育園以外に通う園児への補助
認証保育所、保育室、家庭福祉員、認定こども園（3 歳未満が対象）に通う園児の保護者に月額 1 万円を補助します。

小学校の楽器整備
小学校の吹奏楽用の楽器不足解消の為、5 年リースで吹奏楽器を整備します。

HTLV-1 抗体検査を助成対象に追加
妊産婦健康診査におけるヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型（HTLV-1）抗体検査の公費負担を開始します。

私が、これまでに議会質問等で取り上げてきた事が実現しました！！

高齢者運転免許証自主返納者に支援
免許証を返納した 65 歳以上の方に、身分証明書として顔写真付き住民基本台帳カードを無償発行します。

証明証発行手数料の減額
自動交付機を利用して、住民票、印鑑証明、戸籍謄本等を発行する場合、手数料を 50 円引き下げます。

郵便局での証明発行の試験実施
市内の 2 郵便局（柏町・栄町）で、住民票、印鑑証明、戸籍謄本等の証明発行を試験的に実施します。

粗大ごみ処理券に 300 円券を作成
1000 円（10 ポイント）の粗大ごみ処理券に加え、11 ポイント以上使用する場合に利用出来る 300 円券を作成します。

立川安全安心(見守りメール)が好評

《不審者情報、防犯情報及び防災情報を配信》

市が必要と判断した上記情報を、登録済みの方へ随時配信します。特に今回の震災以降、登録者の方が急増しています。登録方法は tachikawa-reg@mlreg.tricorn.net へ空メールを送信して下さい。

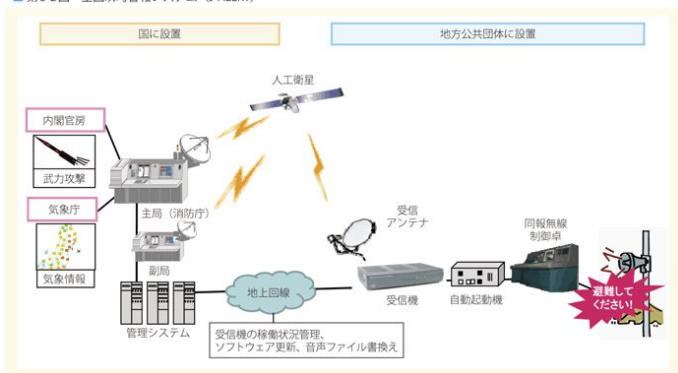
詳細は、立川市ホームページの他、生活安全課(528-4376)まで

※私は見守りメールの充実を訴え、昨年度より防災情報が追加されていました。



全国瞬時警報システム(J・アラート)運用開始

■ 第3-2図 全国瞬時警報システム (J-ALERT)



立川市では平成 23 年 4 月 1 日より全国瞬時警報システムの運用を開始いたしました。このシステムは対処に時間的余裕がない緊急事態の情報を通信衛星を経由し、国民保護情報、緊急地震速報(最大震度 5 弱以上)を、市の防災行政無線を自動起動してお知らせするものです。なお、現在は緊急地震速報の精度が低下しているため、気象庁において改善が図られるまでの間、緊急地震速報の自動放送は行いません。

家具転倒防止器具等を無料で支給

希望する世帯に、家具転倒防止器具を無料で支給します。

- 対象 : 市内在住で住民登録または外国人登録をしている世帯。ただし、平成 21 年・22 年度に本制度による支給を受けた方を除く。
- 支給器具 : 器具ごとに定められたポイントの合計が 150 ポイント以内で支給します。支給方法は、決定通知書を送付し、その後ご自宅に宅配によりお届けします。申請後お届けまでには概ね 1 か月程度かかります。
- 募集数 : 一般世帯 1700 世帯、高齢者世帯等 400 世帯

※高齢者等世帯で器具の選定及び取り付けが困難と思われる世帯に対しては取り付け等の支援も行っています。詳細は、住宅課(523-2111 内線 2558・2562)まで



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい！

◆市議会・環境建設委員会委員長

高口やすひこ励ます会 発行